

## 令和2年度事業計画

令和2年は1月に新型コロナウイルス問題が発生し、その影響から東京オリンピック・パラリンピックの令和3年夏までの開催延期が決定しました。この新型コロナウイルスによる危機の終息は見えませんが、国県市の要請や指導に従い、業務を継続する努力が求められています。

こうした中で我が国の経済も、個人消費の落ち込みから大型経済対策が打ち出され、追加も想定されています。建設業におきましても、これを機会にテレワークで可能な現場監理業務や、会社と現場のオンラインによる施工計画書類作成などの現場支援業務が奨励され、これらの研究・普及・一般化につながることを期待します。

また、「働き方改革」による時間外労働の罰則付き上限規制の適用などを控え、私どもも上部団体の日本空調衛生工事業協会が作成した「働き方改革の推進に関する行動計画」にのっとり、計画的に時間外労働の削減を目指さなければならないと考えています。他方「建設キャリアアップシステム」は、現場等で運用されており、工事に伴う対応方法などを具体的に把握し、情報収集及び発信に努めてまいります。

こうした中で私どもは、県との災害協定による応援業務はもちろんのこととし、さらに台風など災害時のボランティア活動に積極的な参加を推進していきます。

また、研修の充実に向けて継続教育CPD制度の受講機会を増やし、会員の資質向上を図ります。さらに長年継続しております京葉工業高等学校への出前講座、CCI（千葉県魅力ある建設事業推進協議会）での小中学校への出張授業参加、千葉ポートパークのクリーンキャンペーン、県土整備部様との意見交換会などの更なる充実を図ります。

時代がめまぐるしく変化するなかで、千葉県空調衛生工事業協会は、快適空間の創出と地球環境の保全を担う産業としての誇りを持ち、優れた技術と品質の確保及び「顧客満足度の向上」を最大の目的として、市場環境の変化に対応する経営改革に取り組んでいます。

いまこそ私たちの業界が力を発揮し、その役割、存在感を社会に示す素地は確実に高まってきています。長年培ってきた省エネ、省CO<sub>2</sub>に関する技術をさらに磨き「低炭素社会構築」の先導役を果たしてまいります。

さて令和2年度の事業計画ですが、国県市等の指導を仰ぎながら、空調衛生工事業界の地位向上と会員企業の共存共栄を事業運営の基調とし、日空衛等の関係機関との連携の強化を図るとともに、会員各位の参加と協力を得ながら事業を展開いたします。

なお、予算につきましては、公益目的事業における財産額の緩やかな減少と単年度の収支均衡により会員会費を残さないことを目標に掲げ、次記の事業を推進します。

## 記

### I. 公益目的事業(実施事業等会計)

1. 安全衛生に関する研修事業
  - ・ 労働安全衛生研修会の開催
2. 地域貢献事業
  - ・ 県土クリーンキャンペーンの実施

### II. 共益目的事業(その他事業会計)

1. 会員交流・福利厚生事業
  - ・ 賀詞交歓会の開催
  - ・ 千葉空衛ゴルフ大会の開催
2. 建議請願事業
  - ・ 国関係機関、縣市等への陳情活動の推進  
直接(分離)発注の維持、推進  
適正価格、適正工期での発注推進  
改正品確法の周知等  
会員の優先指名
  - ・ 会員からの要望による随時陳情の推進
  - ・ 県土整備部・千葉県空衛協会との意見交換会の開催(営繕関係5課)
  - ・ 県土整備部・建設産業団体連合会(建産連)との意見交換会への参加
  - ・ 国交省関東地方整備局・日空衛関東支部との意見交換会への参加
3. 他団体との交流・情報収集事業
  - ・ 建設産業団体連合会(建産連)が実施する活動への参加
  - ・ C C I (千葉県魅力ある建設事業推進協議会)が実施する活動への参加
  - ・ 日空衛、東京空衛との連携及び情報交換
  - ・ 日空衛関東支部連絡協議会への参加
4. 共益研修事業
  - ・ 業務研修会の開催
  - ・ 技術研修会の開催
5. 災害支援事業
  - ・ 千葉県との災害支援基本協定に基づく災害時の支援体制の確保
6. 広告・宣伝・人材育成等その他の事業
  - ・ 入職支援事業としての出前講座の実施
  - ・ 機関紙「千葉空衛」の発行(年間6回)
  - ・ 希望会員への日空衛機関紙「空衛」の配付
  - ・ 千葉空衛ホームページの更新・充実
  - ・ 行政機関、関連団体からの通告、通知文書の周知